



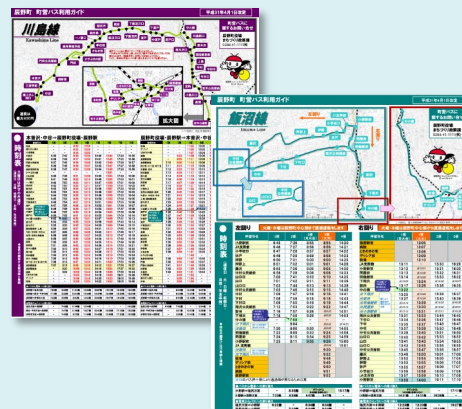
目標3 みんなが支える公共交通

効果的な利用促進策の検討・実施

- 広報誌や町ホームページ・SNS等を活用して、公共交通に関する取組の紹介や利用の呼びかけを実施
- 町営バスの時刻表やデマンド型乗合タクシーの利用案内等を見直しやダイヤ改正に応じて更新し、定期的に地域住民に配布
- 地域住民が主体となった利用促進に対して支援を実施
- 高齢者等や児童・生徒を対象にした利用促進
- デマンド型乗合タクシーの愛称を募集
- 自動車学校や警察署と連携し、自動車運転免許証を保有する高齢者を対象にした定額乗合タクシーの紹介と利用促進を実施



↑公共交通に関する住民座談会



↑現在の町営バスの時刻表・マップ

関係人口を巻き込んだ施策の検討・実施

- 「クラウドファンディング型のふるさと納税」を活用し、町の公共交通事業の取組を町内外の人々にPRし、事業費を確保
- ふるさと納税寄付者に対する返礼品として、デマンド型乗合タクシーの定額乗車券(定額料金1ヶ月分など)を用意し、町内高齢者の乗合交通利用を促進

福祉部門と連携した取組の実施

- 「障がい者及び高齢者等のタクシー・バス利用助成事業」や社会福祉協議会が実施している輸送サービスと町内の公共交通一体的に紹介した周知素材を作成
- デマンド型乗合タクシーの紹介や、利用方法・予約方法等を気軽に相談できるデマンド型乗合タクシーのサポーターの設置を検討

運転者不足対策の検討・実施

- 運転者の求人情報を提供等、移住・定住を対象にした施策との連携を検討
- 第二種運転免許の取得のための支援策を検討

移住定住者向けの町ウェブサイト→



基本方針

住み続けたいまちの公共交通を みんなでつくり、みんなで守る!

人口減少や少子高齢化等に対応し、地域の移動手段を将来に渡って維持していくため、「地域にとって望ましい運送サービスの姿」を示した、公共通施策の総合計画を策定しました。

計画の目標と対応する公共交通の課題

目標1 社会の変化に対応した持続可能な公共交通

社会環境や地域の状況の変化に対応できる柔軟で持続可能な公共交通網を構築し、将来に渡って維持・確保します。

【目標に対応する公共交通の課題】

- ニーズや利用実態に伴う町営バスの見直し
- 新たなデマンド型乗合タクシーの継続と周知の強化
- 移動環境における地域差の解消
- 公共交通に係る行政支出の適正化
- 運転者不足への対応
- 鉄道の減便、広域的な移動への対応

目標2 誰もが利用しやすい公共交通

地域の移動環境を整えていくとともに、公共交通を利用するための環境を整備・改善することで、地域の公共交通を誰もが利用しやすいものにしていきます。

【目標に対応する公共交通の課題】

- 新たなデマンド型乗合タクシーの継続と周知の強化
- 移動環境における地域差の解消
- タクシーを活用した施策とのすみ分け・連携
- 地域内にある交通資源の有効活用
- 鉄道の減便、広域的な移動への対応

目標3 みんなが支える公共交通

地域に暮らす全員が公共交通や移動に関する問題を「自分のこと」として捉えることで、公共交通をみんなで支え、より良いものとしていくための下地をつくります。

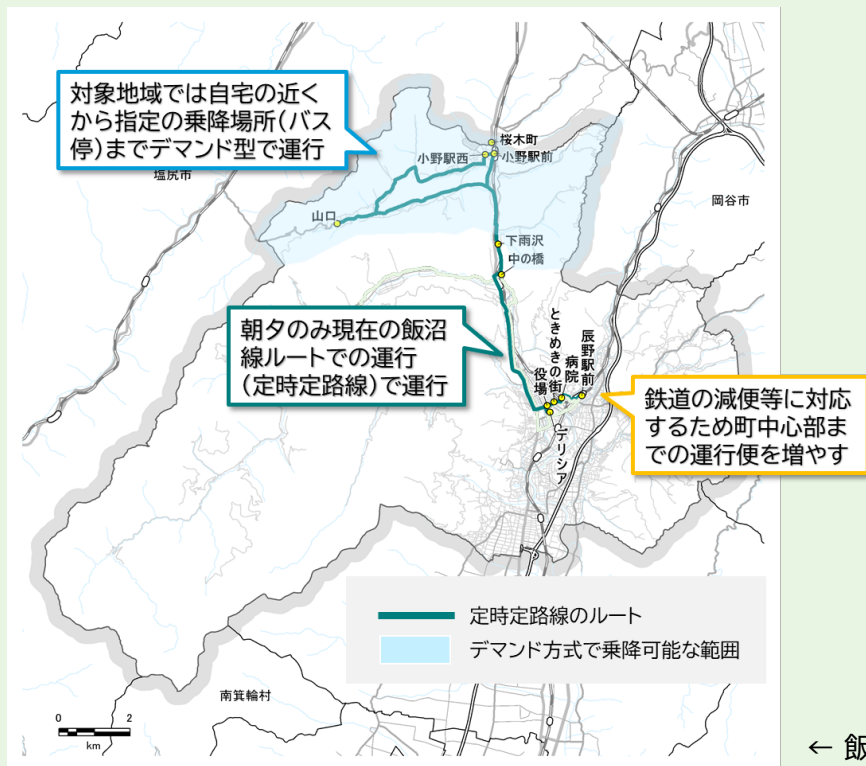
【目標に対応する公共交通の課題】

- 新たなデマンド型乗合タクシーの継続と周知の強化
- タクシーを活用した施策とのすみ分け・連携
- 公共交通に係る行政支出の適正化
- 公共交通の利用促進と必要性に対する理解の促進
- 運転者不足への対応

目標1 社会の変化に対応した持続可能な公共交通

町営バス(地域内交通)の見直し

- 町営バス飯沼線沿線地域(小野区)では、通学等の恒常的な利用が見込まれる時間帯は定時定路線の運行を継続し、日中でのデマンド方式による運行を検討
- 町営バス川島線の沿線地域(川島区、上島区・唐木沢区・今村区)で、現行の定時定路線運行を維持しながら、利用状況に応じてダイヤの見直し等を検討
- まちなかエリアの運行ルートや経由場所をニーズに適した形に見直し



← 飯沼線の見直しイメージ

デマンド型乗合タクシーによる生活移動の確保

- デマンド型乗合タクシーの運行を継続
- オンデマンド配車システムを活用した効率的な運行を継続し、利用実態やニーズ、効率性や運用性を重視して、必要に応じてサービス等の改善・見直しを行う



↑ デマンド型乗合タクシーの車両

鉄道(広域交通)の減便・縮小への対応

- JR中央本線のダイヤ改正に合わせ、町内の公共交通の接続時間を調整
- 鉄道が減便した時間帯を中心に、町営バス及びデマンド型乗合タクシーによる、辰野PAでの高速バスとの接続対応を検討

目標2 地域の特色や資源を生かした公共交通づくり

まちなかエリア(町中心部)での利便性・回遊性向上

- まちなかエリアに限り、すべての町民がデマンド型乗合タクシーを利用できるようにし、町営バスとまちなかエリア乗合タクシーの利用がセットになった料金プランを検討
- 商業施設や飲食店、入浴施設などと連携した、利用者向けのサービスの実施や、医療機関との連携による乗合交通のPRの実施
- 「公共交通利用者お買い物優待サービス事業(公共交通利用者が町内で買い物する際に商品の割引、ドリンクサービス等の優待サービスが受けれる制度)」を継続し、制度の周知や見直し等を実施

利用環境の整備・改善

- 交通結節点や乗降の多い施設・医療機関等において、町営バスの運行状況やデマンド型乗合タクシーの予約状況を確認できる仕組みを検討
- デマンド型乗合タクシーのスマートフォンによる予約対応を検討
- 町営バスのバス停を点検し、必要に応じて修繕や整備、ベンチ等を設置
- 利用が多い交通結節点を中心に、乗り換えの案内を行い、必要に応じて改善
- 町営バスについてインターネット上の経路検索サービスに対応
- 冬季の対策(除雪、凍結)については、道路管理者や道路を所管する部署と連携して安全性を確保し、運休については速やかに情報を発信
- 長野県や周辺自治体と連携を図り、地域連携ICカード及び交通系ICカードの導入・活用を検討



↑ 公共交通の待合環境
(辰野駅・小野駅・町立辰野病院)

交通資源の最適配置・有効活用

- 町営バスの見直しやまちなかエリアでの運行に対応する形で、車両更新にあわせて車両の小型化を検討
- 辰野町が所管している施設・団体の車両を、必要に応じてスクールバスや町営バスの車両として使用できるように検討



現在の町営バス車両 →